

祝

令和5年度 美郷町社会福祉大会

＊大会テーマ＊

「^{ちから}つながりを力に～^{まち}安心・安全な地域 美郷をめざして～」



令和5年10月13日(金)

午後1時30分～4時20分

美郷町公民館

主催 社会福祉法人 美郷町社会福祉協議会

後援 社会福祉法人秋田県社会福祉協議会・美郷町・秋田県仙北地域振興局福祉環境部・秋田県南福祉事務所・社会福祉法人秋田県共同募金会・美郷町教育委員会・美郷町共同募金委員会・美郷町民生児童委員協議会・美郷町老人クラブ連合会・美郷町身体障害者協会・美郷町遺族会・日赤美郷町分区・青少年育成美郷町民会議・JA秋田おばこ千畑総合支店・美郷町更生保護女性の会・美郷町商工会・社会福祉法人水交会「後三年鴻声の里」・社会福祉法人慈泉会・社会福祉法人六郷仙南福祉会「ロートピア緑泉」「ロートピア仙南」・大仙美郷介護福祉組合「真昼荘」・医療法人寿康会「杏授苑」・美郷地区少年保護育成委員会・公益社団法人美郷町シルバー人材センター・特定非営利活動法人みさぽーと・大曲人権擁護委員協議会（順不同）

本大会は赤い羽根共同募金配分金の一部が使われております

=趣旨=

近年、ますます進行する少子高齢化や人口減少、核家族・単身世帯の増加に伴う家族機能の低下や地域における住民・近隣関係の希薄化など、社会全体の機能や世帯構造の変化に、生活課題の複雑化や複合化が進んでおり、現行の制度や支援だけでは十分に対応できないケースが増加しています。

このような人と人との距離が遠く感じる状況から、地域や福祉関係以外の機関も含め様々な主体の連携・協働による地域づくりの重要性が問われており、感染予防に配慮した新しいスタイルを工夫した住民同士の支えあいによる生活支援や関係機関による総合的な相談体制の整備が求められています。

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行となり、元の生活に戻ろうとしている今だからこそ、すべての人が、多様なつながりの中で、お互いを尊重しあい自分らしさを発揮できる“みんなで支えあいよろこびあふれ湧くまち”を目指して、地域住民・行政・福祉団体・商工等の関係機関との公民協働による包括的な支援体制を強化し、地域福祉力の向上を目的に本大会を開催します。

=式典次第=

1. 開式のことば
2. 会長式辞
3. 功労者表彰並びに感謝状贈呈
4. 受賞者代表謝辞
5. 来賓祝辞
6. 大会宣言
7. 万歳三唱
8. 閉式のことば

=日程=

13:00 13:30 14:20 14:30 15:20 15:30 16:20 16:30

受付	式典	休憩	講演	休憩	アトラクション	閉会
----	----	----	----	----	---------	----

=講演=

演題 『災害ボランティアセンターと地域づくり』

講師 一般社団法人 BIG UP 石巻

代表理事 あべよしのり 阿部由紀 氏

-講師プロフィール-

一般社団法人 BIG UP 石巻 代表理事 阿部由紀（あべよしのり）氏

- 1967年石巻市出身、旧雄勝町漁師の家に生まれる
- 幼稚園教諭、保育士資格、平成元年より社会福祉協議会に33年間勤務
- 2003年頃より東北や新潟等での地震災害支援活動を実施
- 東日本大震災には災害ボランティアセンターの主たる担当者として従事
- その後11年間石巻市の復興支援事業や全国の被災地支援事業に関わる
- ◆ 一般社団法人日本農福連携協会理事
- ◆ 災害ボランティア活動支援プロジェクト会議委員
- ◆ JVOAD（全国災害ボランティア支援団体ネットワーク）技術専門委員会委員

=アトラクション=

『かさはらもとじ歌謡ショー』



令和5年度 美郷町社会福祉大会表彰者名簿

【美郷町社会福祉協議会長 表彰状】

※敬称略・順不同

受賞区分	氏 名	
永年評議員	富 樫	さつ子
永年職員	竹 村	裕美子
福祉団体（役員）	美郷町老人クラブ連合会	佐 藤 功
	美郷町更生保護女性の会	中 村 裕子

【美郷町社会福祉協議会長 感謝状】

※敬称略・順不同

退任役員	澁 谷 久 一	
退任民生児童委員	加 藤	親
	高 橋	スミ子
	吉 水	暁子
	高 橋	厚
	中 野	美保子
	吉 方	昭子
	小 貫	三枝子
	佐々木	久雄
	佐々木	誠
	佐 藤	トヨ子
	木 村	富美子
	高 橋	智

【秋田県共同募金会長 表彰状】(伝達)

※敬称略・順不同

高額寄付者	有限会社 さくらヘルパーセンター
	有限会社 すずらん
	有限会社 わかば会
	有限会社 ゆう愛
	医療法人 亀谷医院
	高階建設 株式会社
	UDトラックス 株式会社
	美郷町立千畑小学校
	美郷町立六郷小学校
	美郷町立仙南小学校
	美郷町立美郷中学校

【秋田県共同募金会長 感謝状】(伝達)

※敬称略・順不同

大口寄付者	株式会社 佐藤土工
-------	-----------



おめでとうございます



大会宣言（案）

私たちの住む美郷町は、豊かな自然に恵まれた美しい町です。

しかしながら、全国的な問題と同じく、年々人口が減少、少子高齢化が進んでいます。

また、新型コロナウイルス感染症が五類感染症へ移行になったとはいえ、私たちを取り巻く環境の変化は非常に大きく、生活課題の複雑化や複合化も進んでいます。

このような中、だれもが安心して暮らすことのできる町にするためには、住民ひとりひとりが主役となり、個々が抱える問題を真剣に受け止め、行政・福祉・保健・医療・教育・ボランティア等の様々な分野が連携し、活動を発展させていくことが求められています。

「みんなで支え合いよろこびあふれ湧くまち」の実践にむけ、地域に関心を持ち、お互いを尊重し合い、地域社会の一員として「地域福祉活動計画」のもと、安心・安全のまちを創り上げていく必要があります。

この住み慣れた地域で暮らしていく私たちの思いやりと心の伝わる『やさしい未来』を創るため、令和五年度美郷町社会福祉大会において次のことを誓います。

- 一、共に手をつなぎ支えあう地域づくりの推進につとめます
- 一、安心していきいき暮らす生きがい活動の推進につとめます
- 一、地域福祉を支える人材育成活動の推進につとめます

以上宣言します。

令和5年10月13日

令和5年度 美郷町社会福祉大会